



校報 絆

(きずな)〈11月 特別号〉

平成30年11月1日

岩出市立岩出小学校

「全国学力・学習状況調査」の結果について

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省が平成19年から全国の小中学校の最高学年(小学6年生、中学3年生)全員を対象に毎年4月に実施している調査で、前学年までに習った内容について、「知識」(A問題)と「活用」(B問題)の2種類の問題で行われます。

また同時に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活習慣等に関する児童質問紙調査(アンケート調査)も行われます。遅くなりましたが、本校の調査結果をお知らせします。

◆ 「算数」の成績について

A問題については、過去に全国平均をわずかに上回ることもありましたが、総体的にA・B問題共に、全国平均をわずかに下回る状況で推移していました。今年度、A・B共に(Bは初めて)全国平均を上回りました。

弱点は？

- ・ **小数の割り算**、**百分率を求めること** に課題がありました。

◆ 「理科」の成績について

理科は3年ごとの実施ですが、全国平均を上回りました。

◆ 「国語」の成績について

これまでA問題・B問題共に、全国平均を下回っていましたが、今回、B問題で初めて全国平均を上回りました。(易しいはずのA問題が全国平均を下回っており、不思議な現象が起っています。)

弱点は？

- ・ **漢字を文の中で正しく使うこと**

出題漢字の「読み」「書き」については概ねできていたのですが、その漢字を使った別の熟語を答えるといった出題方法に不慣れさがあったのか、すべての漢字問題で大きく平均を下回っていました。

- ・ **文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと**

相手や目的に応じ、伝えたいことが伝わるように文章を書くということに課題がありました。

生活習慣

- ◆ 放課後や週末に、「DVD・ゲーム・インターネットをしたりしている」と回答した児童の割合は、県・全国平均を上回っています。

規範意識

- ◆ 以前から関係項目で県・国平均を下回る傾向にあり、その傾向は継続しています。
- ◆ 特に、「学校のきまりを守っているか」の間では、「はい」と答えた児童の割合は県・全国平均を10ポイント以上も下回っており、学校生活のルールを守れていない現状が見受けられます。

自尊感情

- ◆ 以前から関係項目で県・全国平均を下回っていましたが、今回、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」、また「先生は良いところを認めてくれている」の間で、平成27年度以降（直近4年で）、初めて県・全国平均を上回りました。
- ◆ 自尊感情と成績の相関関係はよく指摘されますが、今回の結果から、子供たちの「自己有用感」や「達成感」を高めるような関わり方をしていくことの重要性について再確認いたしました。

学習習慣

- ◆ 宿題については、全員がやっていると答えていますが、予習・復習については6割弱の児童しかしておらず、県・全国平均を下回っています。また、まったくしていない児童の割合は県・全国平均を大きく上回っています。
- ◆ 毎日授業以外で、2時間以上勉強している児童の割合は約3割で、県・全国平均と殆ど差はありません。しかし、30分未満という児童の割合は、県・全国平均を上回っています。
- ◆ 図書の貸出冊数は増加傾向にありますが、授業以外での読書量については、県・国平均を下回る傾向が続いています。特に、10分未満が5割を超えており、県・全国平均と比べ大きく上回っています。特に「まったく読書しない」児童に至っては4割を超えています。

地域活動への参加

- ◆ 授業等で地域の方にお世話になることはありますが、地域行事やボランティア活動など、子供自身が地域活動に参加していない状況がうかがえます。

◆ 今後の取組

- ・ 1時間1時間の授業を大切に、弱点の克服に向けた授業の工夫・改善に努めます。
- ・ 休み時間や放課後などを利用して、間違い直しを徹底するなど、ていねいな指導に努めます。
- ・ 「朝学の時間」、「補充学習の時間」を有効に活用し、基礎・基本の反復練習を徹底するとともに、発展的な問題にも取り組みます。
- ・ 生活面の気になる点については、ご家庭の協力を得ながら改善に努めます。
特に、家庭学習の習慣づけ(10分×学年)や、「早寝・早起き」など規則正しい生活リズムの定着にご協力をお願いいたします。